

印西市立図書館協議会委員任命書交付式及び
令和7年度第1回印西市立図書館協議会会議録 要旨

- 1 開催日時 令和7年7月10日（木）
午前10時05分から午前11時50分
- 2 開催場所 印西市文化ホール 2階 大会議室
- 3 出席委員 黒澤委員長、大和副委員長、飯尾委員、和田（亜）委員、中嶋委員、
石ヶ谷委員、関口委員、樋口委員、久門委員、和田（剛）委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 渡邊教育長、中嶋生涯学習課長、秋山大森図書館長、
根本大森図書館副館長、遠藤小林図書館分館長、
富田そうふけ図書館分館長、秋本印旛図書館分館長、
三門本埜図書館分館長、伊藤主査、岩井主査、鈴木主査補
- 6 傍聴者 5名
- 7 会議内容 委員任命書交付式
議事 報告事項
(1) 令和6年度印西市立図書館事業報告について
(2) 印西市立図書館サービス計画取組状況について
(令和6年度)
(3) 令和7年度印西市立図書館事業計画について
その他
- 8 その他

会議要旨（要点筆記）

【委員任命書交付】

【教育長あいさつ】

【委員自己紹介】

【事務局自己紹介】

【会議録作成のための録音機材の設置と会議公開に伴う傍聴席の設置の了解、会議成立の報告】

【委員長あいさつ】

〈議長〉 それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただく。
会議の円滑な進行にご協力をお願いしたい。

【会議録署名委員の指名】

〈議 長〉 はじめに、本日の会議録署名委員の指名を行う。
名簿順にお願いしたい。今回は石ヶ谷委員を指名させていただく。

【議事】

(1) 報告事項 「令和6年度印西市立図書館事業報告について」「印西市立図書館サービス計画取組状況について（令和6年度）」

〈議 長〉 それでは、議事に入りたいと思う。「令和6年度印西市立図書館事業報告について」「印西市立図書館サービス計画取組状況について（令和6年度）」は関連しているため一括議事とする。事務局より説明をお願いしたい。

〈事務局〉 （令和6年度図書館事業報告・図書館サービス計画取組状況について説明）

〈議 長〉 事務局より説明があった。印西市立図書館サービス計画ができ、昨年の4月から取り組んできて初めての報告になる。皆さんの意見、質問をお願いしたい。

〈委 員〉 資料2の3ページで子育て支援関係や児童本の充実を図っているとか経済や経営に関する資料を多く収集しているとわかった。地域住民に対応した本を集めているということだが、この図書館はここに力を入れている、冊数がたくさんありますという情報を発信しているか。
資料1の18ページ、5年度から6年度に所蔵冊数が減少している説明があったが、経年で見ても減少しているのは理由があるのか。
3つ目に6ページで、夏休み中は学校の図書館を利用できないので、市の図書館でイベントを開催していただいてありがたい。学校図書館担当者との連絡会議を行っているということだが、こんなことをすると子ども達が喜び、こんなイベントをすると子ども達が図書館に足を運ぶなどの情報交換をしているのか。スタンプラリーなどもして集めると得点になる、県民の日だとシールがもらえるなどを行っているが、そういったことが低学年の子は喜ぶ、このような特典みたいなものの情報交換はしているのかを聞きたい。

〈議 長〉

3点ありました。事務局の方からお願いします。

〈事務局〉

児童書については、6館まんべんなく蔵書している。子どもは近くの図書館にしか行けないので、なるべく近くの図書館にあるような体制を整えようと思っている。小倉台図書館、そうふけ図書館には多めに収集をしている。

情報の発信については、年報、広報、ホームページに載せているので、そちらで確認ができると思うが、細かい情報発信については、今後検討していきたい。

資料1の18ページの所蔵冊数の推移については、55万冊位が続いているが、各館の所蔵のキャパというか、所蔵が入らない状態になってきている。情報の古いもの、汚れたものを除籍しながら新刊を入れている。購入金額が上がってきているが、一時期、図書資料購入費が下がっていた年度は所蔵数も下がっていると思われる。

夏休みのイベントは、できるだけ図書館に来てもらいたいので、ブックスタンプラリーや図書館探検隊などの事業を毎年計画している。相乗効果として、学校司書連絡会の時にも、学校でこういう事業をして面白かったという情報を教えてもらっている。大森図書館については、印西中の生徒が作ったポップを夏休み期間中、図書館の資料と一緒に展示している。中学校との連携ということで今年度で3年目になる。そういうもので、中学生の子達が図書館に来てくれると良いと思っている。

〈委 員〉

本埜図書館が休みになってしまうので、夏休み中は、そうふけ、小林、大森、小倉台図書館に行くと思っている。良く図書館を使っている子は知っているが、夏休みの間だけ行ってみようという子もいるので、本埜図書館の休館については学校でも周知をしていこうと思っている。

資料2の3ページ、講座・企画事業の実施について、いつも楽しいイベントをたくさんやっていて、子ども達もスタンプやシールを集めに行ったりする。毎年やっていて人気のものもあるだろうが、何回もやっていて企画がパターン化し、ネタに困った時にはアイデアがある。図書館が好きで図書館のために役立ちたいと思っている子が結構いると思うので、職業体験に行った子達にどん

な企画をやってほしいかアイデアを聞くと、僕のアイデア使ってもらえたとか、お互いにウィンウィンになるのかなと思う。

子どものアイデアなので突飛なものも多いとは思いますが、楽しい事業がいっぱいできたり、子ども達が図書館の役に立つ良い経験になると思う。夏休みの間、図書館ボランティアの募集もあったので行く子もいる。子ども達もいっぱいアイデアを持ってると思うので、もし何かあれば使ってもらえればと思う。

資料1の13ページについて、思ったより不明の本が少ないと思っている。これだけの冊数を管理するのはとても大変だと思う。学校図書館だけでも、不明の本を探し出すのは結構大変。60万冊近い本を管理して蔵書点検をやるのはかなり大変だと思うので、大変ありがたいと思っている。学校の子ども達にも、借りた本はちゃんと返してくださいって伝えたいと思う。

〈議長〉 貴重な意見をありがとうございます。

〈委員〉 今年、印旛中学校の野球部とバレー部が地域移行になる。それで部活動も今年は6時まで部活動をやっていて、子ども達も帰る時間が遅かったり、土日もある。来年以降、完全に地域移行すると、土日に暇になる子ども達が出て来て、クラブへの加入を考える中の一つの選択肢として、その行き先に図書館も良いと思っている。できたら来年以降、一気に進められ部活動がなくなる子ども達や、そういう子達が行ける場所、長期休みにお友達に会いに行ける場所として図書館が更に充実してくれると良いと思った。

その他に、学校の中に戦争の教材がある。ウクライナ侵攻、シリア内戦など、今も世界の戦争はなくなっていない。この辺も調べていくと、そうふけの公園の中に飛行場の記念碑があったり、印旛沼の上空でB29とゼロ戦が戦った歴史もあったり、風船爆弾をアメリカに向けて飛ばした等の記録が結構ある。この地域にも戦争体験をしての方が多分いて、今が話を聞ける最後の機会。高齢者の話が聞けたり、勉強会のような企画はできないだろうか。中学生が行って話ができたり、図書館で調べ学習ができると、夏休み明けにスピーチをやることができる。学校と図書館で協力できる企画に興味がある。

印西中がポップ作りをし大森図書館で展示しているとのことだが、印旛中も校内では行っている。ポップ作りは中学一年生の教

材に入っており、本校でも取り組みたいと感じた。校内では展示している。印旛中だったら、そうふけや小倉台であれば電車で行けるので、声をかけてもらえたら、もしかしたら作品を出せると思った。文化ホールは吹奏楽のコンクールでも来ているので、ここにも作ったものを置かせてもらえたら、子ども達の興味が地域に向くのではないかな。

部活動の地域移行にあわせて、図書館と学校が協力できたら良いと思った。

〈議 長〉 ポップの活用を近くの図書館でというのは、学校連携と子ども達が図書館運営に関わってもらおうということで、取り入れてもらえたら良いと思った。ありがとうございます。

〈委 員〉 資料2の4ページ、3多様な利用者に対応した図書館サービスで高齢者を対象とした図書館サービス、図書館利用が困難な方へのサービスがあるが、障がいを持っている人たちは目とかが不自由な人だけではなく、知的障がいを持っていたり自閉症などでなかなか大勢の中に入っていくことが苦手な人たちも多くいると思う。図書館には「いつでも、だれでも、どこでも」というスローガンがあるので、障がいを持っていたりも過ごせる場所ができれば良いと思う。小倉台図書館にはDVDを見たり、音楽を聴くスペースで個室になっているところがあり、今はDVDが置かれている。以前はVHSがたくさんあって、それが随分使われていて雑音が入っているものが多かったが、VHSがなくなってしまう、障がいを持った人たちが気楽に気軽に見れるようなDVDは少なく、図書館に行っても過ごせることがなかなかできないということがある。私は障がいを持った人たちの行動援護をしているので、知的障がいを持った人たちと公園を散歩したり、天気の良い時などは図書館を利用してDVDを見たりすることも多いが、新しいものが入ってこない。また、総合教育会議で不登校についての会議があったが、その中で発言してくれた人が不登校の児童生徒にとって、図書館や公民館が居場所になっていないということを知った。これは障がいではないけれど、なかなか受け入れられないということもあるのかもしれないが、どんな人でも利用できる図書館であってほしいと思う。

- 〈議 長〉 リクエスト制度もあるので、必要なDVDとかは要望したら良いと思う。もちろん著作権があるので、著作権をクリアしたものじゃないと購入できないが要望はその場で、必要な方たちが必要なことを要望していかないと。事務局も分からない、図書館も分からないこともあるので、ぜひ直接リクエストしたら良いと思う。
- 〈事務局〉 気楽に見れるDVDがあると良いということで、具体的にどんなジャンルが必要になってるのか疑問になった。こういうものが欲しいとか、視聴覚資料や雑誌の新たなリクエストについては必ず応えられるという保証がないので、意見までということで伺わせていただき、それで良ければ、具体的に教えていただいた方が良い。
- 〈議 長〉 日本は欧米に比べて、障がいのある人たちは自己主張が弱い。何をしてほしいか、何が必要か主張した方が良いというのも、私は図書館関係の研修で受けたことがある。隠すとか、なかなか表に出せないような状況がどうしても社会的にあるけど、何が必要かというのをきちんと伝えていくことは必要だと思う。何か一緒に活動している人たちも遠慮せずに、現場で直接言うてできることもあるし、できないことももちろんあるけど、言った方が良くと思う。
- 〈委 員〉 サービス計画、取組状況の中から2点ある。
1 ページ目、一番下の予約サービスの向上のところ、未所蔵資料のリクエストの受付方法で、今は図書館に行って紙に書かないとリクエストができないが、何とかしてそれをウェブで図書館ホームページでできるようにすると、気軽にリクエストをすることができる。前回もお願いした。これは他の自治体ではできていることなので、検討と書いてあるが、着手してほしい。同じく4ページ一番下に図書館窓口の設置があり、ぜひやってほしい。移動図書館の導入を検討しますとあり、具体的にどういう図書館をイメージしていますか。
- 〈議 長〉 計画的に移動図書館はありますか。合併して地域が広がって、なかなか図書館サービスが全部に行き届いていないと思うけど、何か計画がありますか。もしくはサービス拠点を見直ししている

とか。

〈事務局〉 ご存知のように印西市内には6館図書館があり、それぞれ地域に寄り添った形で開館している。
移動図書館については、今回のサービス計画が10年間になっており、その中で状況を見ながら、市域が広いということもあり、どのような形で皆さんに図書を利用していただけるか検討する中の一つに移動図書館も入ってくるということで記載している。現段階で具体的に検討しているものはない。

〈委 員〉 そんなに長いスパンの話なんですね。

〈事務局〉 この計画の中で立てていると、認識していただきたい。

〈委 員〉 前回の協議会で緊急の課題は本埜図書館と印旛図書館の休館対応だという話をした。サービスレベルが著しく落ちるので、その休館期間に何とかして移動図書館や窓口を設置して、リクエストの多い本の貸出、ベストセラーみたいな本だけでもコンパクトにおけるコンビニ図書館とか、移動の車両図書館。そういう提案をしたので、もしかしてそれのことかなとちょっと嬉しく思ったが、そういうわけじゃなかったんですね。ただ、10年のスパンと言いましたけど、やるのだったら、今年、来年、再来年、この二つの図書館が休館している時にこそ、印西市の図書館の一番のやる気を示すべきです。サービスレベルを本気で考えてるというのが分かると思うので、ぜひ検討をお願いしたい。

〈議 長〉 移動図書館は以前は回していたけれども止めた。地域も広がったので、検討する余地はあるということですね。

〈事務局〉 検討する余地があるとは考えているが、図書館が6館ある現状の中で、今回、工事で一時的に休館になるが、印旛図書館に関しては臨時窓口を開設し、コスモスパレットのような対応をする。本埜図書館に関しては、そうふけ図書館が近くにあるのでそちらを利用していただくことを考えている。そうふけ図書館の改修の時にも本埜図書館にということで対応していた。同様の形で今回の工事についても、一時的な休館という中での対応として現時点で

は考えているので、ご理解いただきたい。

- 〈委 員〉 大学の教員をしています。1年間委員をして、大学の評議員会のような立場と我々は思っている。
印西市の図書館の運営において、この協議会が構造的にどんな立場にあるのかなということを1年たって思わされています。大学だと理事会があつて、評議員会ではそんなに大きなことは出てこないけれども、時々はっとさせられる提案がある。
それをまた理事会に持ち帰って考え直し、次の評議員会でそのことを答えるということをやっている。ここで私たちが質問に対して答えをもらっているけれども、印西市の図書館の運営の中でこの働きがどういう役割を持ってるのかという漠然とした質問ですけれども、その辺りを聞かせていただきたい。
- 〈事務局〉 図書館協議会で、皆様からさまざまな意見をいただき、その時点で、答えられる部分については答えている。当然ながら答えられない部分と、貴重な意見をいただいて、その意見をもとに次年度以降の事業計画について対応できるか検討している。皆さんからいただいた意見については図書館として、どのような形で反映できるかというところを考えていかなければならないと思っている。
図書館としての立場で言うと、それぞれ図書館の持つ機能を最大限活用できるような取り組みが必要と考えているので、皆様からの意見をもとに、これからも運営については検討していきたい。
- 〈委 員〉 できたら前回協議会で出た意見に対して、こういうことを検討したとの答えが次の協議会でもらえるとありがたい。提案です。
- 〈事務局〉 いただいた意見をどう検討したかという部分では、意見としていただく部分と検討が必要だと思う部分がある。検討した部分についてはフィードバックできるかと考える。方法については検討したいと思う。
- 〈議 長〉 ありがとうございます。学校図書館司書の配置は図書館協議会で全校配置を強く望んでいて、今までもずっと望んでいて、今回、教育長も課長も館長も替わったので、またこれからも強く言って

いきたいと思ったが、ぜひ現場での意見ををお願いします。

〈委 員〉

最初に、初めて参加したが、私は学校関係者だったので、学校と図書館の関わりは細かく知っていたけれども、市民のために色々なことをやっていて、それを根拠のある評価をして、課題を洗い出し、そして課題に対する次の手立てを示しているということに対して、本当に市民のための図書館だということを改めて実感した。

私の方からは3点、1つは移動図書館のことで、六合小学校は印旛図書館から大変に遠いところにある。さらに平賀小学校は遠くて、子どもが自分で図書館に行つて本を借りるということが非常に難しい。私は今司書という立場だから、私の方で子ども達に読ませたい本を図書館から借りてきて、それを子ども達に示しているような状況である。

教員の時にもそういう授業を展開していたが、教員がたくさんの本を読んで、その中から子ども達に読ませたいものを選出して図書館に行つて借りて返すという作業は、部活もやっていれば、他の教科も教えなくていけない教員にとってはかなり厳しいことだろうと常々思っていた。

今は司書で時間があるのでそれができる。司書も今年5名増えた。六合小学校には昨年一週間に1回だったが、今は2回行っている。そうすると、各学年の子ども達に細かい支援ができる。

司書を増やしたことは、学校現場にとっては大変にありがたいことだと思う。そういった面から考えると、学校と図書館の連携はもっともっと、我々司書が役目を果たしていかなければいけないことなんだろうと思うが、私は教員としての経験があるのでそういうことができるけれども、経験のない人もいるし、連絡会で司書の方々に色々なことを知ってもらい、学校との連携を図っていけるのが自分の仕事なのかなと、今話を聞きながら思った。

印旛公民館は本を置いてあるのでしょうか。私は、成田に住んでいるが、公民館に分館として図書館がある。

計画的にやらないと不可能だと思うが、特に印旛の子ども達は図書館が遠いので、印旛公民館に本を置いてもらえるとありがたいなと思っている。

2点目は民話で、「そうふけっぱらのきつね」の民話を作っているが、その他に印旛に残る民話はないのでしょうか。

- 〈事務局〉 印旛と本埜にもそれぞれ民話はある。今後は、そういった民話についても、また機会があれば、民話の絵本化ということも出てくるかもしれないが、現状は印西の民話ということで、「光堂の竜」、印西市の小倉にある光堂を題材にした民話を作成してるところである。
- 〈委員〉 「そうふけっばらのきつね」は低学年の子ども達にはちょっと難しい。絵本は「そうふけっばらのきつね」だけでしょうか。
- 〈事務局〉 現在、印西市が作成した絵本は「そうふけっばらのきつね」だけです。
- 〈委員〉 いには野にも民話が残っていますよね。そういうのが子ども向けの絵本としてあると地域愛が沸くかなと考えている。
3点目です。先ほどポップ作りということで、中学校の話があったが、小学校でもポップを作っている。もし公民館に、図書館分館、分々館みたいなのができたら、そこに子ども達が自分で作ったポップを飾って足を運ぶというようなことが実現できるのかなと思った。
以上3点です。
- 〈議長〉 合併前は4駅圏構想ということで、それぞれの駅のところに図書館があって、合併して6館ある。私は今公民館の図書室で働いて、社会教育法で公民館のところには図書を置くとなっていると思うが、印西は公民館に置かず4駅圏構想とかで本を置くようにする方針なので、これからも公民館に置く予定はないですよ。成田は公民館に図書室がある。法律があるので多くの公民館に図書室があるが、印西市は公民館に図書室がないのはそういう方針なのか。
- 〈事務局〉 ご存知と思うが、印西の場合、図書館と公民館とが同じ施設内に複合館となってるところが多いので、例えばそうふけ公民館や小林公民館がそうである。また印旛公民館についてはふれあいセンターいんばが工事に入ったが、ふれあいセンターのところに公民館が移転して増設となる予定なので、印旛公民館も複合館のよう

な形になる。公民館図書室ではなく、図書館に本を置くことになる。

〈議 長〉 図書室がない公民館はないっていいことですか。本は置いていないのですか。

〈事務局〉 中央公民館、本埜公民館がある。中央公民館には、本は自習するような部屋に少し置いてあったと思う。

〈議 長〉 図書館もサービス計画が元年なのでとても大変だと思うが、本がないところに少しでも回して活用するというのも、いつか考えていけたら良いと思う。もう 1 点は学校司書だが、私たちの望みは 1 校に一人配置です。周りの市町村は 1 校配置になっている。印西市だけ 2 校 3 校を掛け持ちしているので、非常に読書教育が遅れている。ぜひ、早く 1 校に一人きちんと配置してくださいということを、願います。

また強くプッシュしていきたいと思っているし、意見をこれからも伺いたいと思う。

〈委 員〉 資料 2 の印西市立図書サービス計画の 7 ページ、(2) 児童生徒の一番下の学校教育との連携強化につながることにして提案です。きっかけは印旛図書館の窓口です。リクエストカードが各館にあるが、子どもはインターネットのメールアドレスを持っていないので、直接ネットで本の予約ができない。そのことで話をしていた時に、お子さんにこのリクエストカード持って行っていいよという話をしてもらえた。この繋がりでも各小学校・中学校に図書館のリクエストカードを置いてもらえないか。

印旛図書館付近に住んでいるが改修工事にあたり 2 年間図書館に通えなくなるという現状がある。なるべく本に接する機会を減らしたくない。私の娘の話ですが、図書館を利用することの理由として、まず一つはいろんな本を読みたいから、図書館に行く。もう一つとしては学校の図書室にない本を図書館に借りに行きたいという希望をよく聞く。

例えばシリーズものの児童書があつて、3 巻が借りたいけど学校の図書室にはない。いつまで経っても返ってこないとか、学校の図書室では紛失なども多々ある。そういう時に印西市の図書館に

もしその本があったら借りられないかなという相談を受ける。低学年に関しては、学校の図書室で借りられなかった時に家の人に借りてほしいという希望を伝えるのに、まだ言語能力として言葉が拙い状況で、なかなか親のところまで借りてほしいというフィードバックがうまく行きにくい。

そこで、リクエストカードにできれば図書委員、もしくは司書の人にリクエストの本の題名を書く手伝いをしてもらい、このリクエストカードを家に持って帰ってもらう。お家の人が図書館利用者であれば、親御さんがこれを見てリクエストの予約を入れられる。もし親御さんが図書館を利用したことがない場合であれば、図書館カードを新しく作ってもらうきっかけにもなる。

また、お子さんも窓口でリクエストを受けてもらえる、予約した本はそこで受け取ることができる。リクエストカードを持って窓口に行ってもらう、もしもその本が所蔵でなかった本の場合、子どもがこの本を欲しいとリクエストとして子どもの意見の吸い上げの視覚化ができると思う。子どもが日頃、あの本欲しいな、あの本を読みたいなっていう感情的なものは、その場限りでずっと持続するものではない。

この形で視覚化できれば、私たち大人、その他の大人にも伝わると思う。学校との連携が必要になってくると思うが、まずはこのカードを置くことはできないか。提案です。

〈議 長〉

学校司書が本当に必要ですね。白井市はいくらでもそういう手続きを何年も前からやっている。他の市も。学校司書が本当に必要です。

公共図書館と学校図書をつなぐための学校司書の方の役割はとても大事で、リクエストカードを置くとかできますよね。会議もしていると思うので、どうでしょうか。

〈委 員〉

できれば教育長もいたので、事前に話を通しておきたかった。

学校の中の図書室ですから、学校の管轄になると思うが、図書館の領分としてこういったものが配置されることは、各小学校の校長先生の采配によるところになるのか、領分としてどうですか。小学校中学校でこのカードを管理してほしいということではない。あくまで置いてほしいということです。

図書館側としても、これを受け取るだけで良い。このリクエスト

カードは各館で色が違うと聞いた。このカードを各小学校のリクエストカードとして、各小学校で印刷をしてそれをおいてもらうだけで良いと思う。まずはそのようなことを実行できないか。

〈事務局〉 学校の方との協議も必要になってくるので、学校と協議検討させてもらいたい。結果については、協議が整ったら、結果を報告させてもらいたい。

〈委 員〉 9月に印西市立図書館の司書と学校司書との連絡会議があるので、良ければ私の方で提案して、教育委員会の担当の指導主事もいるので連携が図れるのかなと考えたが。

〈事務局〉 協議させてもらうということで、個人情報も多少出てくると思う。学校に通っているお子さんなので、学校でも管理されているお子さんなので問題になることはないと思うが、市としても個人情報という扱いについては慎重にやらせてもらいたいと思う。どういった形で対応できるのかというところまで協議できればと思う。

〈議 長〉 学校司書の人が1校一人配置されれば、いろいろな問題が解決される。ぜひ配置を。

〈事務局〉 学校司書については、この場でお答えすることができないことですから。

〈議 長〉 ずっと言い続けていて、やっぱり学校連携で学校で受ける入り口となる学校司書がいないと、資料管理も読書普及も全て進まないなので、ぜひ図書館からもプッシュしてもらえればと思う。

〈委 員〉 2点あります。
資料2の4ページの図書館利用が困難な方へのサービスの項目で、6月議会を傍聴し、議員からも、図書館サービスについての意見ということで話があったけれども、とても良い意見だったので図書館サービス計画にも反映させてもらえるように、図書館協議会のこの場でシェアできたらいいかなと思います。

『みなサーチ』の導入を検討してはどうですかという話が出た。他の自治体の取組として紹介された。『みなサーチ』というデータ

ベースは目の見えない人、見えにくい人、活字の図書を読むのが困難な人、様々な障がいの人に対して利用しやすい形式の資料を探すサービスで、具体的には点字だったり、テキストデータ、大活字本、LLブック、電子書籍など、様々な種類の資料を検索できるというもので、みなサーチを登録している公共図書館、学校図書館は全国的にも結構多く、所蔵している図書を提供し合って閲覧できるデータベースなので、とても役に立つと思い、印西でも将来導入してほしい。

2点目は11ページです。図書館司書の採用のところで、正職の司書の募集が続いていて、本当に喜ばしいことだと思っている。これからも続けてほしい。

私達はいろいろな図書館を訪問し、調布市の図書館にも行ってきた。入ってびっくりした。足を踏み入れた途端活気に溢れている図書館で、来館している人も多いし、職員も多く、見回すと企画展示が色々で魅力的なものがいっぱい溢れているような図書館だった。調布市と印西市を比較してみたところ、調布市の人口は印西市のほぼ2倍。図書館の数は印西が6館、調布は中央図書館があり、その他分館が10個で、規模も、大体2倍だと思った。大幅に違ったのが、働く人々の数で、調布の図書館は正規職員が60人で、そのうち司書の方は40人いる。会計年度は160人という数字を聞いた時に、働く人に関しては調布は6倍だなと感じた。図書館司書は本当に忙しいと思う。やっぱり絶対的に数が足りないんじゃないかと一市民として実感した。急に大幅に増やすことはできないと思うが、今募集していることを地道に続けてもう少し余裕を持って仕事ができるような体制にしていけたら良いと思う。

10年間のうちには、必ずお願いしたい。

〈議長〉

時間が無くなってしまい、私の方からは2点ほど。

資料費を少しずつ頑張って増やして、やっとな県の図書館平均を上回ってきたので、これからもぜひ資料費を獲得するご努力をお願いしたい。

もう1点は事業を頑張るけれども、もっとワクワクするような、マンネリではないワクワクした事業をやっていただきたい。その時にアンケートをとって市民ニーズを捉えてもらえたらと感じた。

時間がどんどん無くなってしまい、令和6年度の事業報告とサービス計画の取り組み状況のところはこれでよろしいでしょうか。貴重なご意見をありがとうございました。

報告事項 「令和7年度印西市立図書館事業計画について」

- 〈議長〉 次に進めたいと思う。令和7年度の事業計画について説明をお願いしたい。
- 〈事務局〉 (令和7年度印西市立図書館事業計画について説明)
- 〈議長〉 令和7年度事業計画について意見を受けます。
何かありますでしょうか。
職員を採用し、どういう状況か説明していただきたい。
- 〈事務局〉 令和7年度の職員については、司書の職員が1名採用され大森図書館に配属されている。3名の募集を行い、結果的に1名の採用だった。引き続き来年度以降も図書館運営を計画的に行うために、司書についても計画的な採用に努めたいと思う。
- 〈議長〉 他に何か皆さんの方からありますか。
- 〈委員〉 先ほど委員の方から、戦争の話とか地域に愛着をという話があったが、教育長も人権平和というあたりに力を入れているところだと思う。前教育長も地域に愛着を持てる子どもをと、ここ数年取り組んでるところだと思うので、その辺とリンクしながら市の図書館もいろいろ企画や、本を揃えていただくことをやってもらえればありがたいかなと思う。
- 〈委員〉 リクエストで、多分タブレットが古くなってるが、子ども達は比較的タブレットが使えるので、こういう本が読みたいっていうものの吸い上げがそのタブレットを通して簡単にできるのではないかな。子ども達の方が大人よりもすごく使えるので、ウェブ関係を充実してもらえると、いろいろな問題が解消されそうだなって思った。
- 〈議長〉 それを指導する学校司書の人が必要ではないか。

そこに繋がってしまう。

〈委 員〉 質問ですが、子ども達はタブレットから図書館のホームページにアクセスできるのか。登録も子ども達はしているのか。子ども達はそのウェブ環境にアクセスできるような状況が整っていて、ホームページもそれに対して情報提供して吸い上げる動きができれば、いろんなことが解決しそうな気がする。

〈議 長〉 タブレットからは予約ができる。子ども達にそれを繋げる、それを教えてくれる先生が必要。パスワードは必要だけれども図書館はいくらでも予約ができる。それができるよ、リクエストもできるよ、大人がやっていることを子ども達にきちんと伝えてくれる学校司書がやっぱり必要。

〈委 員〉 SNSだと、個人情報で、子ども達は自分のタブレットのパスワード、アクセスナンバーを平気で教えあったりすると色々問題がおきそうなので、その辺の使い方は慎重にと思うが、リクエストでこんな本が読みたいというのはいくらでもすぐにでもできそうな気がする。

〈議 長〉 小さいお子さんから高齢者まで全てそれを繋げる役割は図書館や学校司書にある。
その他、よろしいですか。
令和7年度の事業についても終了させていただきます。
駆け足になってしまって、大変申し訳ありませんでした。事務局にお返しします。

【閉会】

〈事務局〉 ありがとうございます。皆様もありがとうございました。
1回目の会議はこちらで終了となります。第2回目協議会は、11月上旬を予定しています。お疲れ様でした。

令和7年度第1回印西市立図書館協議会の会議録は、事実と相違ないので、当協議会は、これを承認する。

令和7年8月26日

印西市立図書館協議会

委員 石ヶ谷 康子